

自己負担額のシミュレーション

事例：有床診療所において、1,300㎡を対象面積として通常型スプリンクラー（消火ポンプユニット有り）を25,000千円の事業費（工事費）で整備した場合

<自己負担額>

自己負担額は、次の計算により、12,500千円となります。

（計算式）

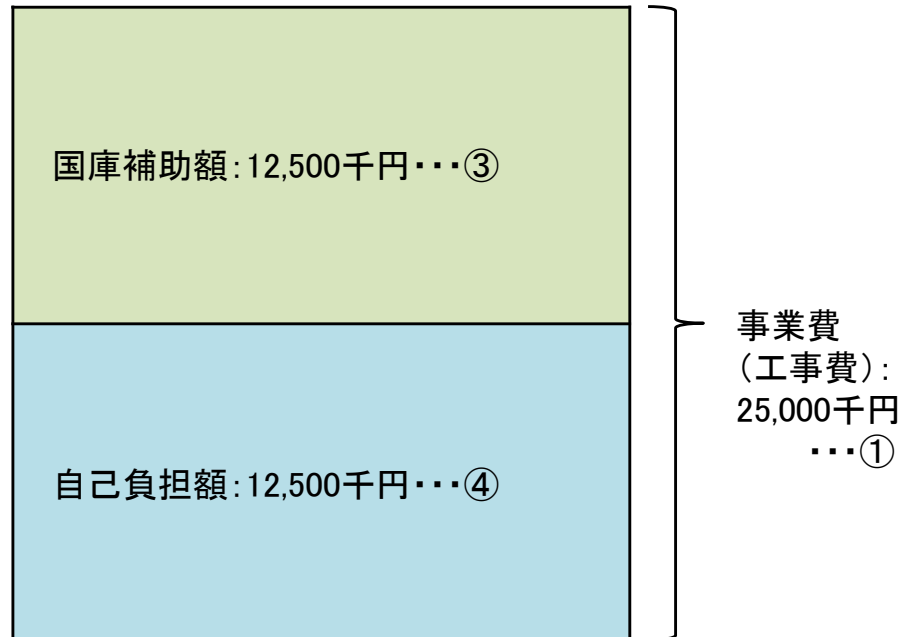
事業費（工事費）：25,000千円…①

基準額： $1,300\text{㎡} \times 21,400\text{円/㎡} + 2,174\text{千円} = 29,994\text{千円}$ …②

国庫補助額：12,500千円…③（＝①、②の低い方×1/2）

自己負担額：12,500千円…④（＝①－③）

（負担割合）



※ 自己負担額12,500千円について、優遇融資を活用する場合の返済シミュレーション結果は次のとおりです。

※ 次の例は、診療所（耐火構造）の最大償還期間（据置期間）である20年（1年）、金利0.9%（R5.8.1現在）でシミュレーションした例であるため、実際の条件については、（独）福祉医療機構へご相談ください。

<融資可能額>

自己負担額×95%＝11,875千円

（3,000千円以上20,000千円未満は500千円単位で切り捨てのため、融資可能額は11,500千円）

<各年の返済額の例（元金均等償還の場合）>

・Aパターン

（償還期間20年、据置期間1年の場合）

→元金605千円＋利子101千円＝706千円

※1年目は利子のみの返済

・Bパターン

（償還期間20年、据置期間なしの場合）

→元金575千円＋利子96千円＝671千円